

進路指導室へようこそ3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第46号

令和8年1月23日(金)発行

■1年間の総決算を

1・2年生は週末に進研模試が予定されています。年間3回実施されるベネッセの校外模試は、回ごとにテーマがあり、今回は1年間の総決算としての意味合いがあります。過去2回の模試を踏まえてしっかりと弱点を潰しているか、次年度に向けての土台作りがきちんとできているか、非常に大きな意味をもつ試験です。また、今回の模試を受験して判明した自分の課題を来月の家庭学習期間中に徹底的に潰していくことが皆さんにとって大きなテーマとなります。3年生が受験に向かう姿を目の当たりにして、1・2年生の皆さんも、思うところが多々あったと思います。この1年間の努力をすべて絞り出すつもりで模試に臨んでいきましょう。



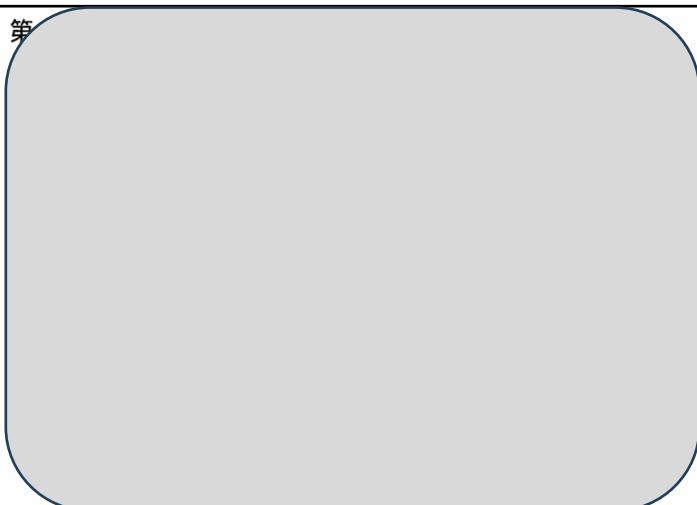
■共通テスト自己採点結果まとめ

17・18日に実施された共通テストについて、大学入試センターから平均点の中間報告が発表されました。あわせて前女の平均点についても処理が終わりましたので紹介します（デリケートな資料ですのでやたらに口外しないようご注意ください）。前女3年生たちも今回の共通テストにおいて、過去の先輩方とも遜色ない好成績を残してくれました。3年生はこの勢いのままに、いよいよ第一志望の個別試験に向かっていきます。3年生は、自信をもって、かつ、油断せずに目標を目指していってほしいと思います。

1・2年生の皆さんの中には、ややもすると「前女の平均」に真っ先に目が行き、「高っ！」と不安になる人もいるかもしれません。ですが、大学入試というのは全国の受験生との勝負ですから、前女の平均がどうだったとか、前女平均より高かったとか低かったとか、ほとんど意味はありません。これだけ高いレベルの集団の中にいるのですから、その中の順位や平均を過剰に意識する必要など、ないので（これを機に、平均より高いとか低いとかで右往左往するのは、もう終わりにしませんか？）。同じ志をもって互いに高めあう意識をもって頑張っていればきちんと結果がついてくることを3年生が証明してくれました。すぐ近くにいる、逞しい先輩の姿を追いかけて、来年に向けて準備を進めていきましょう。

科目	満点	最終予想	前女平均	差	R7年度全国平均
国語	200	116			126.66
歴総・世探	100	61			66.12
歴総・日探	100	62			56.99
歴総・地探	100	62			57.48
公共・政経	100	64			62.66
数学ⅠA	100	47			53.51
数学ⅡBC	100	54			51.56
物理基礎	50	35			24.78
化学基礎	50	29			27.00
生物基礎	50	36			31.39
物理	100	46			58.96
化学	100	57			45.34
生物	100	55			52.21
リーディング	100	63			57.69
リスニング	100	55			61.31
情報Ⅰ	100	57			69.26
6-8文系	1000	596			622.0 (62.2%)
6-8理系	1000	603			633.0 (63.3%)

■共通テストでは、こんな問題が出た（2日目）



数ⅡBCでは、教科書にも載っている有名公式を導く問題が出題されました。単なる丸暗記でなく、過程も含めて理解することが重視されているようです。

■国公立大の出願が始まります

共通テストのデータリサーチが終了し、各業者からの合格可能性判定が提供されました。3年生はリサーチ結果をもとに国公立大受験校を検討し、いよいよ出願が始まります。出願期間は**1月26日～2月4日**。前期日程だけでなく中後期日程もこの時期の出願です（つまり、前期の合否結果を見てから後期を出願するのではない）。

■次年度以降の入試トピックス①

進路指導室には、さまざまな大学関係者が訪れ、入試に関するさまざまな情報を提供してくれます。今年度の入試はもちろんですが、次年度以降の入試（変更点）情報もあります。最近大学関係者から伺った入試変更点で、「特に生徒の皆さんに伝えてほしい」と強く依頼された情報をいくつか紹介します。（正確な情報は各大学のHP等で確認を）

○群馬大学において、次年度からI-GFLプログラムが導入されます（現3年生から対象）

2026年4月から開始する学際的・英語による特別専攻プログラムが開講されます。専門分野を問わず、国境や分野の壁を越えて活躍できる力を育てることを目的としています。学部・学科に関係なく、すべての授業は英語で行われ、日本人学生と留学生が共に受講します。授業はディスカッションや協働型の学習が中心で、単純な講義型ではなく学生の主体的な学びを重視します。

群馬大学には従来からGFL（グローバルフロンティアリーダー）育成プログラムがありますが、I-GFLはそれをさらに学際的・英語中心の授業体系として発展させる新プログラムと考えられています。つまり、従来のGFLの活動中心から、より授業ベースで統合された教育に進化しています。Buddy G-Exploration（地元企業体験）により地元・群馬県内の企業や産業を、留学生とペアで体験しながら社会の仕組みを学ぶプログラムや、短期～長期の留学を通して異文化体験を深め、世界的視野を育てるプログラムなどが用意されています。

○東北大学の教育プログラム「ゲートウェイカレッジ（GWC）」が創設されます（現2年生から対象）

現2年生の受験から、「GWC」プログラムによる入試が導入されます。現AOⅡ期の入試と同時期に選抜を行い、調査書等の書類、筆記試験、面接試験により合格者を選抜します。入学後は特定の学部に縛られることなく、学部を超えた横断カリキュラムのもとで早期段階から研究やプロジェクト型授業に取り組むことができます。英語を武器に国際的な視点に立った学びに触れ、10月入学で加わる留学生とともに世界的な課題に取り組む人材を育てることが狙いです。3年進級時に自分が進む学部を選択し、さらに学びを深めるプロジェクトに進みます。



イメージとしては、「東北大学のこの研究室で学びたい」と明確な希望がある人はAO入試、「東北大学に入っていろいろな世界を見て、そこから自分のやりたいことをじっくり探したい」、特に「将来英語を武器に世界的な課題に取り組みたい」という人はGWC入試を目指す、という流れになるのだと思います。

○早稲田大学政治経済学部の共通テスト利用入試における指定科目が変更されます（現1年生から対象）

大学入学共通テスト利用入試において、2028年度入試（現1年生対象）から全教科の受験を必須化することになりました。共通テスト6教科7科目（合計900点満点）での受験が課されます。科目の内訳は以下の通り。

- ・外国語：「英語」／配点200点
- ・国語：「国語」／配点200点
- ・数学：「数学Ⅰ、数学A」／配点100点
「数学Ⅱ、数学B、数学C」／配点100点
- ・地歴公民：①「歴史総合、世界史探究」②「歴史総合、日本史探究」③「地理総合、地理探究」④「公共、倫理」
⑤「公共、政治・経済」から1科目／配点100点
- ・理科：①「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎（このうち2つを選択解答）」②「物理」③「化学」④「生物」
⑤「地学」から1科目／配点100点
- ・情報：「情報Ⅰ」／配点100点

入試の変更というのは、高校での履修科目にも関わる話なので、実際に受験する1～2年前から予告されることが多いです。今後の入試情報には、1・2年生にも関わるものもたくさんあります。